

寫眞週報

情報局編輯

一月廿一日・第二四〇七號



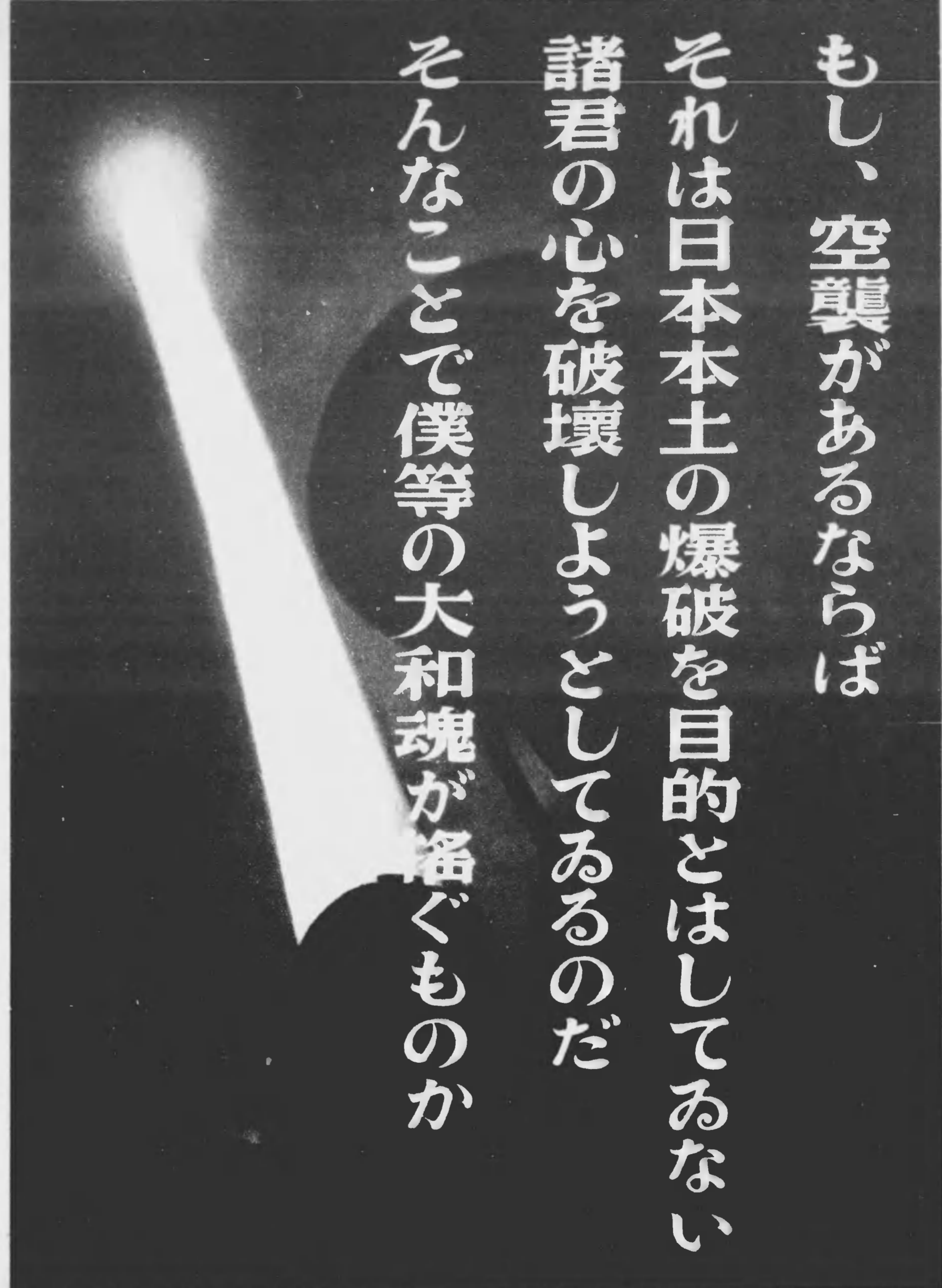
時 立 の 札

（日曜水）

もし、空襲があるならば

それは日本本土の爆破を目的とはしてゐない
諸君の心を破壊しようとしてゐるのだ

そんなことで僕等の大和魂が揺ぐものか

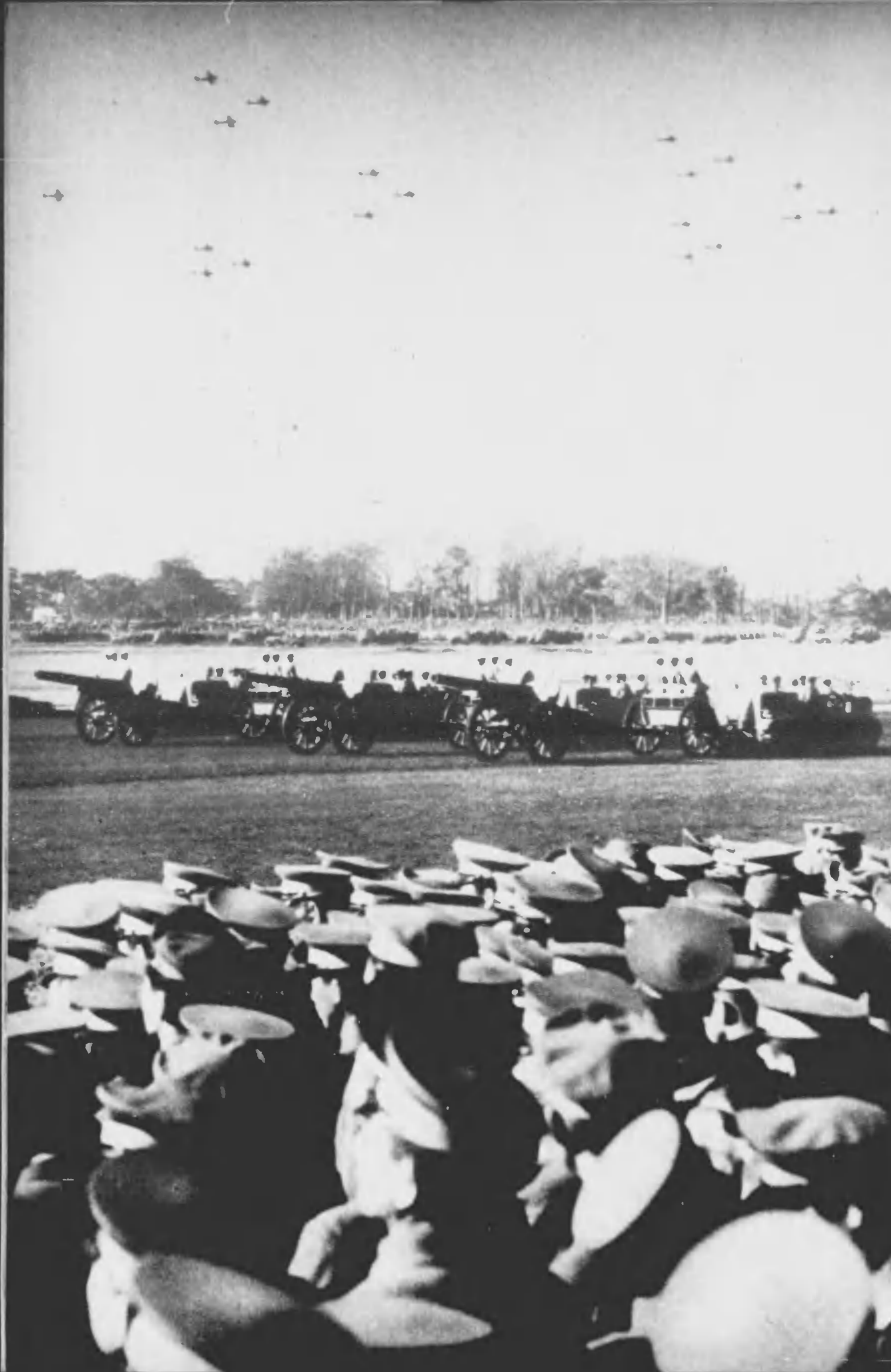


緒戦の初春を飾る

一月八日陸軍始観兵式 東京代々木原頭

大東亞戦争第二年、戦捷の新春を飾る陸軍始観兵式は、一月八日、畏くも大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り、東京代々木練兵場においていと厳かに挙行され、全世界を驚倒させてゐる無敵皇軍の威容を堂々中外に顯揚した

寫眞——大地を壓して曳々と轟進する巨砲の群、天空を蔽ふて轟々分列する荒鷲の大編隊。これぞ、いまマレーにフィリピンに米英の根拠地を木ッ炭微塵に打ち砕き吹き飛ばしてゐる、あの荒鷲だ、あの巨砲だ

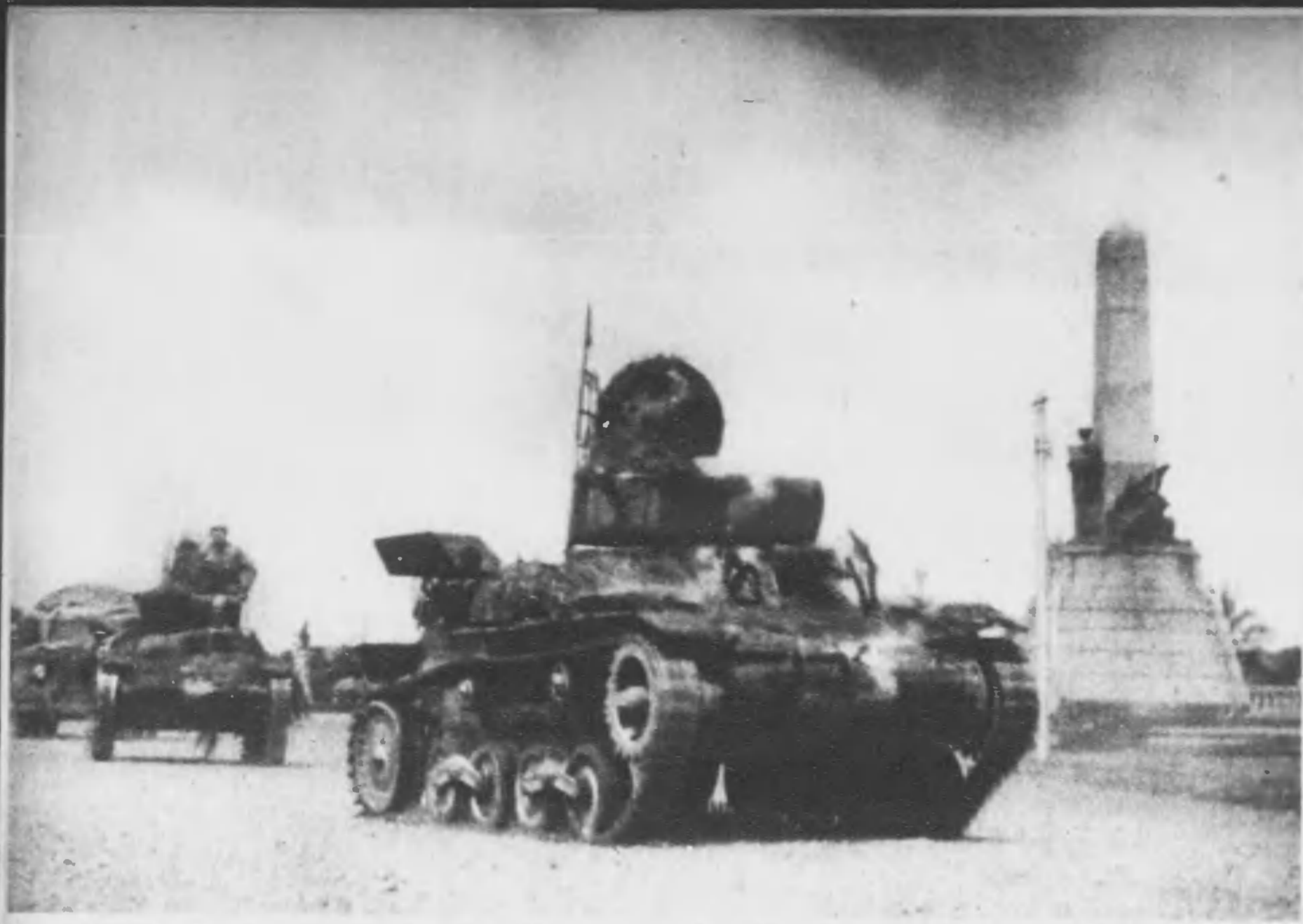
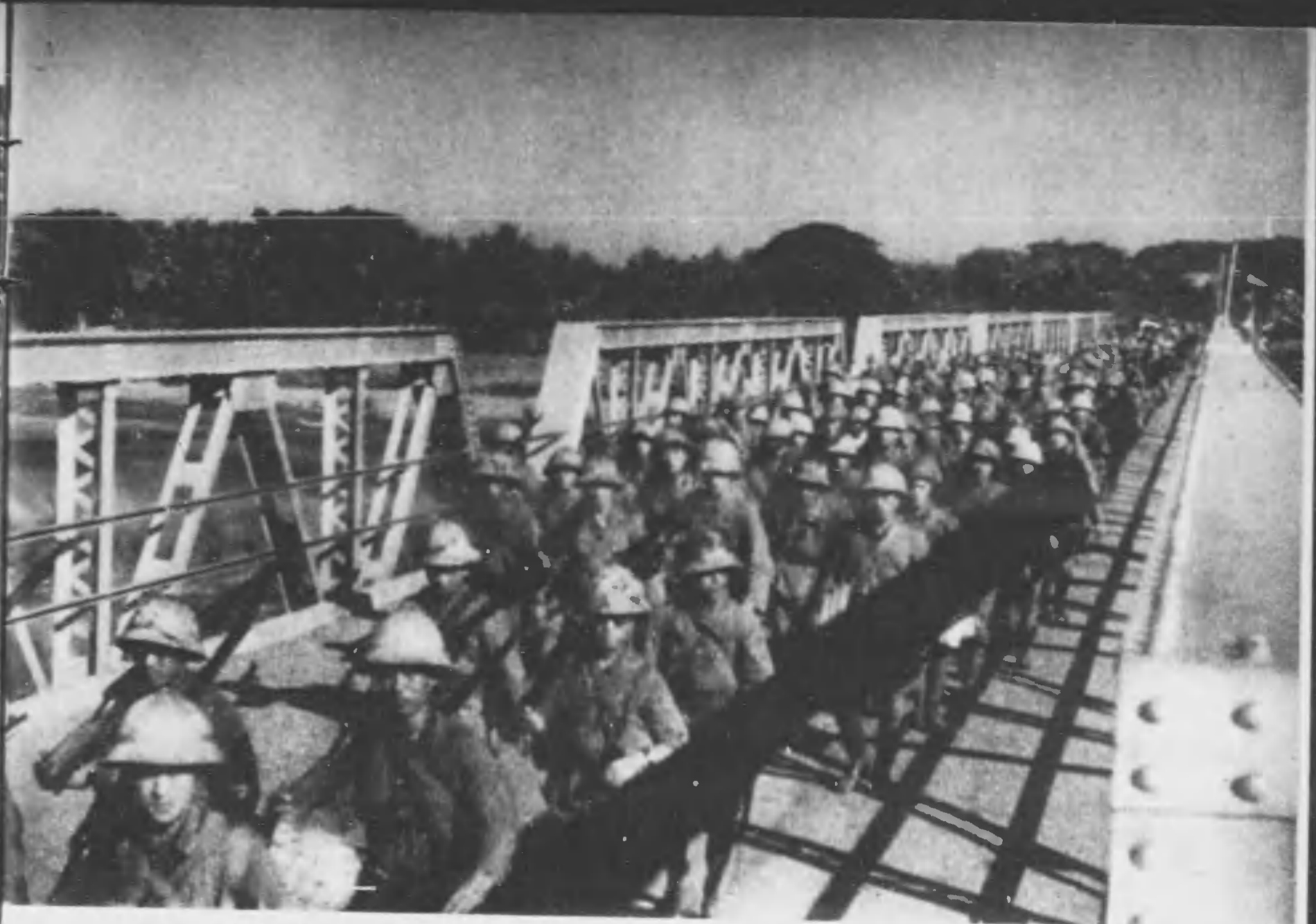


緒戦の初春を飾る

一月八日陸軍始観兵式 東京代々木原頭



錦旗旭日に輝く。御愛馬「白雪」に召させ給ふ 大元帥陛下には、各皇族殿下を初め奉り、諸將星を従へさせられ、横山侍従武官の御先導にて順次各部隊の威容を御親閲あらせられた



マニラ陥つ

日二月一

堂々激戦の戦いを見せマニラに迫る皇軍部隊。アメリカがアメリカの敵性を完全に露呈するの日の感嘆。軍靴に交って高らかに響く。日本軍入城と同時に、住民に皇軍の真意を傳へて、その協力を要する部隊幹部。焦土戦術、それは弱者に残された最後の作戦であり、且つ最大の罪悪である。マニラ河口に突上する敵の艦船、敵が苦しむに火を放つた。

マニラにも遂に日章旗は翻つた。わが陸海軍の精銳がルソン島に敵前上陸の第一歩を印して以来正に二十四日、一月二日皇軍部隊は威風堂々市民歡迎禮にマニラに無血入城したのである。開戦と同時にフィリピンが、更にマニラがわが軍の攻撃の砲火に曝されることは當然懸想されたところであるが、アメリカが東亞侵略の最大牙城と頼み、堅固無比を誇つたマニラが、かゝる短期間にわが軍門に降るとは誰が豫知したのであらうか。マニラ陥落は、アジアに於けるアメリカの侵略史に完全に終止符を打つフィリピンのアジアへの復讐によつて、大東亞共榮圈確立の偉業は一大飛躍を遂げた。今や時日の問題となつたシンガポールの陥落と共に、大東亞戦争は開戦以來僅かに數ヶ月にして決定的段階に突入するであらう。





大東亞戰爭圖



英領オネルボ線戦

英領オネルボは今、完全にわが軍の制するところとなつた。その有する無盡蔵な石油資源が、今後わが軍の戦争遂行に重大な寄與をなすことは言ふまでもない。一月十二日に發表されたわが軍の蘭領ボルネオ並びにセレベス島敵前上陸によつて、將來蘭領印度の巨大な石油資源がこれに參加することになれば、わが石油政策が完結となる日も間近のことであらう。



クワラサ

皇軍勇士の前進。住民達が武器を捨て、協力を申した。

影映本日本映社



大東亞戰爭日誌

- 三十一日 ● 陸軍艦隊はヒロシマ(広島)の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、ヒロシマの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 一月一日 ● マラカ海峡の敵艦隊を攻撃する陸軍艦隊は、オネルボイを襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 二日 ● マラカ海峡の敵艦隊を攻撃する陸軍艦隊は、オネルボイを襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 三日 ● 黎明、陸軍軍は大規模な空襲を実施し、オネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 四日 ● 陸軍軍はオネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 五日 ● 西日及び本日ヨロシロ島(西貢)の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、ヨロシロ島の海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 六日 ● 五日より本日にわたり、陸軍軍はオネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 七日 ● 日以來、オネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 八日 ● 帝國海軍艦隊は、オネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 十日 ● 陸軍軍はオネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 十一日 ● 帝國政府は、最近各種の軍事的挑戦に出づるべきと、和議政府の敵對的行動を破綻し、帝國国民の生命財產の安全を確保するため、本日をもって戦争開始を聲明した。本日、陸軍軍はオネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。
- 十二日 ● 夕刻、帝國海軍艦隊は、オネルボ島の海軍基地を襲撃し、多数の艦隊を破壊し、残艦を沈没させた。また、オネルボイの海軍基地に降下した中、敵艦隊一隻を撃破した。英領オネルボに上陸した陸軍部隊は、オネルボ島のオネルボイを完全占領した。



新戦場 蘭領 ボルネオ

一月十一日わが陸海軍は和蘭軍に對して敢然戦闘を開始し、同日未明蘭領ボルネオのサラカン島、セレス島、ナドに敵船上陸を行ひ、日艦隊は遠く蘭印にも響へるに至つた

わが國は米英兩國とは戦端を開いたが、和蘭に對しては出来れば蘭印住民に戦禍を及ぼさないやうにとの考慮から敵對的行為を差控へてみたが、和蘭政府は對日宣戰を通告して来たばかりでなく、以來和蘭軍はわが國に様々な敵對行為に出て、更に最近は蘭印を米英蘭の對日抗戰基地とするに至つたのである。蘭印にも限度があり、わが國としてはついに熱忍袋の緒を切つたのであつた

蘭領ボルネオは島の中央山脈を境として西側一帯の廣大な地域を占める約四分の三を占めてゐる。その大半は熱帯雨林地帯で、熱帯樹林の茂る女林、ジャラ、堆積岩質の石油を産出する一石炭、食、貴金、水銀、金、銅、鉛、鉄、木、等の多量の資源も大半はまだ開發の緒についたに過ぎない。その最大の理由は交通の不便によるもので、現在交通網としてはいまだに河川を利用してゐる。河川は中央山脈から放射状に流れて海に達し、支流を合して大河となつてゐる。その流域一帯は均味豊かで



蘭領ボルネオ某地の石油採掘工事



バンジエラマシシ地方ランタウ街の廣場

世界屈指の産油地サラカン油田地帯



無盡蔵の埋蔵資源がある。河口にはてんぷといはれてゐる。しかもこれ程東、西には大小の部落の散在し、その軍事基地はイリビ、英領ギンガ、ナドを以て中心とし、相手をなす。その中心地はサラカン島、セレス島、ナドに敵船上陸を行ひ、日艦隊は遠く蘭印にも響へるに至つた

わが國は米英兩國とは戦端を開いたが、和蘭に對しては出来れば蘭印住民に戦禍を及ぼさないやうにとの考慮から敵對的行為を差控へてみたが、和蘭政府は對日宣戰を通告して来たばかりでなく、以來和蘭軍はわが國に様々な敵對行為に出て、更に最近は蘭印を米英蘭の對日抗戰基地とするに至つたのである。蘭印にも限度があり、わが國としてはついに熱忍袋の緒を切つたのであつた

蘭領ボルネオは島の中央山脈を境として西側一帯の廣大な地域を占める約四分の三を占めてゐる。その大半は熱帯雨林地帯で、熱帯樹林の茂る女林、ジャラ、堆積岩質の石油を産出する一石炭、食、貴金、水銀、金、銅、鉛、鉄、木、等の多量の資源も大半はまだ開發の緒についたに過ぎない。その最大の理由は交通の不便によるもので、現在交通網としてはいまだに河川を利用してゐる。河川は中央山脈から放射状に流れて海に達し、支流を合して大河となつてゐる。その流域一帯は均味豊かで

蘭印の敵性

對英恐怖から對日恐怖へ

蘭印の動向は、極く大體把に分けると第一期對英恐怖時代、第二期對日恐怖時代、第三期侮日時代となる

對英恐怖時代といふと、ちよつと妙のやうに聞えるが、元來和蘭といふ國は人種的にみても言語的にみても、王室からみてもドイツと非常に關係が深いので、親獨的の傾向にある國であつた。第一次世界大戦の時には例のカイゼルが愛用した程の國柄である。しかも絶えず中立政策をとつてゐた關係上、英國から軍迫を受けてゐた。軍備は一九三〇年の統計によると、二ヶ師團三万七千ぐらゐで、日本の警察程度の兵隊で治安の維持にあつてゐた。この蘭印が軍備擴張を始めたのは、一九一九年で、日英同盟が廢棄された直後、イギリスがシンガポールの要塞の建造計畫案を發表した時からであつた。これを以てみてもその軍備擴張等の目標は、英國であつたことがわかる。これを

石橋恒喜

排日侮日のかすく

みたイギリスは支那の反英運動を反日運動に轉じさせたと同様手段で昂ぶつた蘭印の對英感情を反日運動に轉換させることに成功した。それは第一次世界大戦後世界の不況に見舞はれた際であつたので、蘭印における貿易は日本の獨佔場となつてゐた。この状態をみたイギリスは蘭印當局に向つて、このまゝでいつまでも貿易を續けてゆく、日本のために止ばされてしまふぞと警告した。和蘭はこの警告に吃驚して對日恐怖を抱くやうになり、だんく排日の國と化して来たのである

その手始めとして蘭印は日本からのセメントの輸入を制限したり、綿織物の輸入を制限するといつた日本の商品に對する甚しい軍迫を加へた。その結果、長岡大使などが昭和七年から奮闘して日蘭關係の緩和に努めたのであるが、彼らは何處吹く風かとしてんで相手にしないばかりか、つひに日本人の入國を禁止する目的で、外國人入國制限法といつたものを發布した。その後一昨年、ドイツがポーランドに侵入すると同時に、蘭印では今度こそ、日本は蘭印を攻撃してくると考へて、いよいよ敵性を濃厚にしてきた。といふのは、日蘭停戰協定の裏面には必ずや軍事攻撃があると考へたからで、バタヴィアやバンドンあたりでは防空壕を盛んに掘り始めた。その中に、和蘭本國は一昨年五月にドイツ軍のために



新戦場 典辭

島スベレセ

【赤道直下】にかけ、攻撃を開始されたソロモン島の東に位置する面積十八万九千二百五平方キロの島で、人口は約四百二十五万である。あまり大きな島を持つてゐないわれわれには、セレスベールの大きさを数字を見ただけでは餘りピンと来ないだらうが、わが臺灣の數倍の面積を持つてゐるのである。以て大東亞戰の規模の雄大さを十分に感じ、おそれおそれない。

住民は、南部及び海岸では大體回教を信じてゐるブギネス人並びにマカサール人、北東部ではキリスト教に歸依したミッサナハ人で、その他は異教のアラフラ人であるが、この中には未だ首狩の風俗を有してゐるものがあるといはれてゐる。

この島のうちで割合に經濟的開發が進んでゐるのは、北部及び西側の半島で、北部にはココヒー、檳榔、糖、西側には橡、砂糖、ココヒーが多く栽培されてゐり、牧畜による皮革と共に主要な輸出品をなしてゐる。またこの外、原住民の耕作物として、特にココブ、椰子油、ココナツ、米、甘藷、バナナ、森林からは胡椒、胡椒、海苔、魚類、珍珠、珊瑚等を採る。

政治上セレスベールは、センベスとミナハサの二大地方に分れてゐる。本島の西側は、南海岸のマカサールである。人口約九万。セレスベールの何事か詳述してゐる。今度日本軍が占領したのは北端ミナハサの首都メナドである。

メナドはセレスベールの要にも當る重要な港で、前世界大戰に活躍したドイツのエンゲルマンは、一時この島を占領してゐた。この島には、十分の設備、國民全部が南、は、と眼を閉ざさなければならぬ。

この島は、北部にはココヒー、檳榔、糖、西側には橡、砂糖、ココヒーが多く栽培されてゐり、牧畜による皮革と共に主要な輸出品をなしてゐる。またこの外、原住民の耕作物として、特にココブ、椰子油、ココナツ、米、甘藷、バナナ、森林からは胡椒、胡椒、海苔、魚類、珍珠、珊瑚等を採る。

政治上セレスベールは、センベスとミナハサの二大地方に分れてゐる。本島の西側は、南海岸のマカサールである。人口約九万。セレスベールの何事か詳述してゐる。今度日本軍が占領したのは北端ミナハサの首都メナドである。

メナドはセレスベールの要にも當る重要な港で、前世界大戰に活躍したドイツのエンゲルマンは、一時この島を占領してゐた。この島には、十分の設備、國民全部が南、は、と眼を閉ざさなければならぬ。

セレスベールの中央部に住む原住民の女たち



皇軍が敵前上陸したメナドの市街



マカサール港の埠頭



占領されてしまつたが、このドイツと我が國が同盟を結んでゐるといふ理由で、蘭印は敵は日本であると合點して排日に一層の拍車をかけてきた。

その表はれは、日本の漁船がシンガポール附近にあるビントン島で、和蘭海軍飛行機のために襲撃されて實弾の洗禮をうけたことである。それに次いで、マデランといふ所では和蘭の泥酔した水兵に日本の商店員が袋叩きされて、重傷を負つた事件がある。それから間もなく、第二次日蘭會商の開催といふことになつて、小林商相が全權となつてバタヴィアに乗り込んできた。

第二次日蘭會商の前後

この會談はご存知のやうに、蘭印は初めからこの會談を極めて意志はなく、皇軍の佛印進駐や日獨伊同盟の事實を指摘して、決裂に導かうとわが全權團に喰ひ下つてきた。小林全權がかくして歸國した後は、排日氣運は一層昂つて、恰も和蘭女皇陛下の施政五十年記念日に當つて、我が邦人が敬意を表して和蘭國旗と日意旗を戸毎に掲げたところ、これを引きずり下して焼却したといふ、日意旗事件が惹起されたのである。更に東洋のドイツ人即ち日本人を驅逐すべしといつた激越な文書が配布されるに至つたのである。また首府のバタヴィアで夜、日本人の主婦が車を通つたところ、これを見た警官が引摺り下して袋叩きにしたといつた事件も起り、日本の全權團、軍人などに對してさへも無禮な態度を續けたのであ

る。況んや、日本の旅行者などに對しては、非常に苛酷な待遇を續けてきて、例へば、日本の旅行者が蘭印に上陸するや、司法省の移民局に喚び出して、絶對にお前達はここに滞在を許さない、直ぐに歸國退去すべし、もし退去しなければ移民收容所に抛り込んでしまふ、といつた命令をするので、旅行者の方では今歸れといつても便船がないから、濟まないが日本から便船のあるまで暫く待つてくれといふと、船のあるとかないとかは我々和蘭人の知つたことではない、もし船がないのなら、日本まで泳いで歸れといつた理不盡な命令さへ出してゐた。

今ぞ断乎鐵槌下る

最近に至つては、A.B.C.D線の中心であるといつた自惚れから、飽くまでも對日一戦を辭せずといつた空氣を濃厚に表はして来た。對日強硬論者のファンモークは今度の大東亞戰爭勃發と同時に、『火中に粟を拾ふ無算』を指適す。對日強硬派を斥けて蘭印政府の上改選を断行、和蘭軍を東亞戰場に送つてゐた。しかしかくも蘭印が示した對日傲慢無禮の態度に何時の日か、彼の上に鐵槌が下らないと誰か保證し得たらうか。昭和十七年一月十一日、遂に皇軍の蘭領ボルネオ及びタラカン島の進駐によつて、彼等への鐵槌は断乎下されたのである。それによつても蘭印が米革の尻馬に乗つて火中の粟を拾ふに至つた、その翌は實に慨むべきものである。

香港の新發足



東部の飛行機は、一頁を抜いた。軍の香港攻略から早よ約一ヶ月、いま香港は再びと新機と新機を運ぶ。この機材を運ぶために、香港と新機との力強い音を呼喚して来た。

治安は確保された。市民も順々と歸ってきた。街は五日以上の騒ぎを取り戻して、民生の事情には生々として明るさ大げらめである。しかし香港の明日に約束されるものは、大陸経済の中心心として、役割がある。世界ととも香港は軍政府イギリスの金融貿易方面を擔當し、支那経済を支配してきたのである。例へば、香港が中心として西南太平洋の経済を掌握せんとしてイギリスが獲得してきた貿易通貨、海峽ドルの一角として運ばれてきた。マレーから北は上海まで流通力を持つ。直接的には南支那の経済を支えてきた。香港ドルは流通額、億八千ドルといはれてる。これに、この通貨を左右した香港銀行は、主として南洋貿易を對象とした。英米煙草公司、アジア火油公司、鐵、ゴム、ソーラ、電燈、ガス等の諸事業等が、一東部経済の柱となつてゐる。しかしこれらのもとは既にわが手にあつて存分に處置することが出来るのである。

地理的地位からいへば、西南太平洋経済と北方大陸経済の接合點にある香港が、共同經濟の開發を期することには正に明かである。昨日と異つて、昨日を「昨日」香港は開始として浮き上がることを期す。

わが軍の要求により、香港警務局長官は、香港改組委員會、及び警察局長官の職に、香港改組委員會の委員に選出され、その職務に協力する。

わが艦隊から運送する水上機の勇姿に、香港島の市民は、安堵と喜びをこめて祝つてゐるのだ。



艦隊の上より、芝罘として、攻略なつた香港に見入る海軍最前線指揮官新見新軍、海軍陸軍隊中將

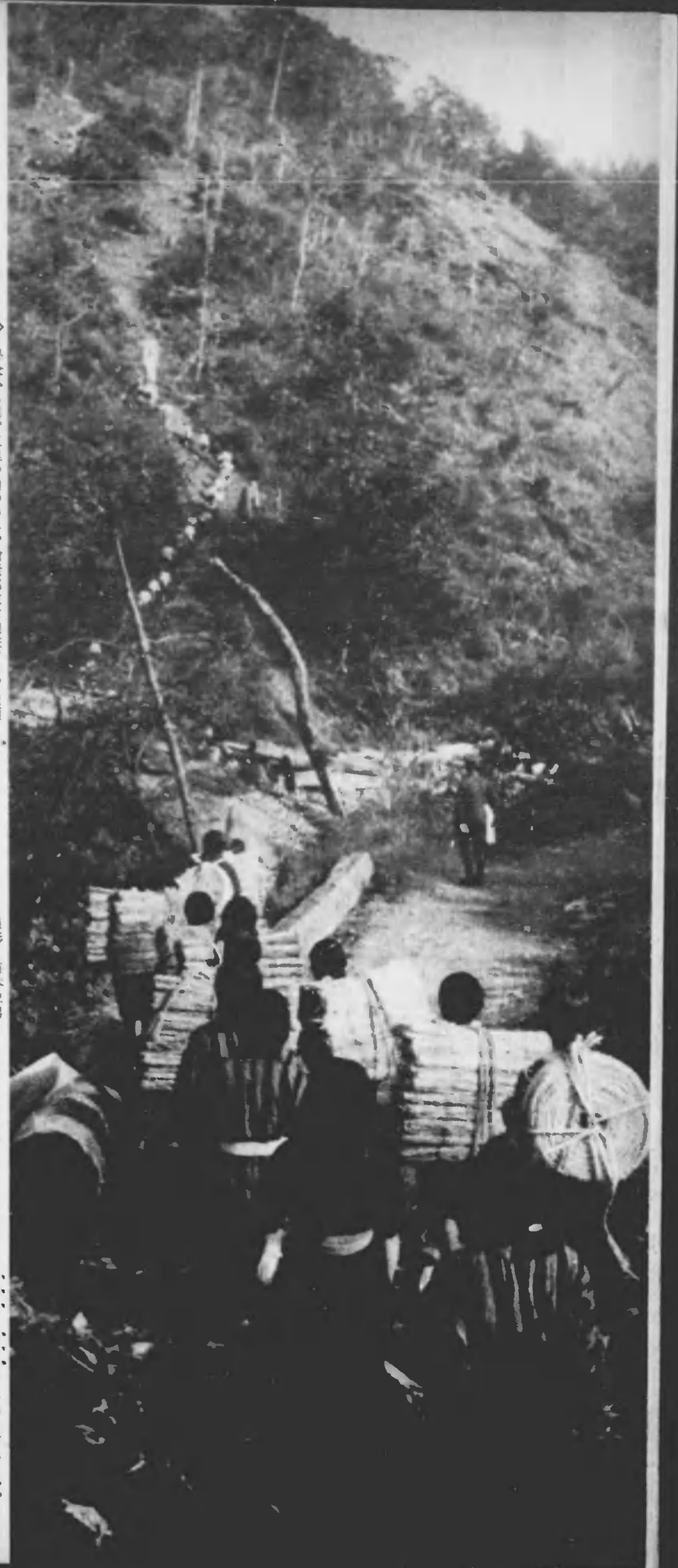


わが海軍の艦隊下には治安と同様した、兵隊とドリスのあつたき採取に努めてゐる市民は早くも結々とわが家へ戻つて来た



軍政府の警備が、市民の安堵の表情にあふれてゐる。そして、香港島の繁華街には昔日の賑わひが、再びあつてゐるのだ。この街の性格は、一變したのだ。新鮮な建設にむかつて





学校から四、五里の山の中へ、増産部隊は進駐する。先頭にはためく祖國振興隊旗が働くもの高らかな意気を謳歌してゐる

撮影 梅本忠男

額を汗を拭はうともせず、はつし、はつしと手斧を打ちこむ。使命を負ふた若い力か、精魂を打込んだ逞しい姿だ



「都會の人が不自由しないやうに、しつかり張ります」可憐な氣持をあげて

燃料 木炭

宮崎縣大東村



百キロを遙かにこえる大丸太が空に積みこまれる。炭は一回に百二十三十俵から二百五十俵もの木炭が生産されるといふ大規模なもの



かーん、かーんと深山に木炭して活氣に充ちた斧の音が朝霧をついて響く。未明に學校を進發した増産部隊は早くも立樹の伐採に敢闘の斧を振ひ始めたのだ

これは木炭増産に挺身する宮崎縣南那珂郡大東村青年學校の頼もしい姿である

自動車ばかりでなく最近漁船などの木炭化まで叫ばれてゐる折柄、單に暖房用としてばかりでなく、動力用燃料としての木炭の重要性は今更多言を要しない。正に生産擴充の時局的な動力源である。一塊も多く造らう！これが合言葉となつて、現在、木炭の生産地ではその増産に必死の努力を拂つてゐる。宮崎縣は全國でも有数の木炭生産縣として知られ、全縣一致して増産に邁進してゐるか、その一翼を擔つて奮起したのがこの大東青年學校なのである

昭和十五年には早くもその眞刻な協力振りが認められて縣知事から表彰を受け、十六年には縣の木炭増産指定校となつた。最初は單にお手傳ひから始まつて次には村有林を開放して貰ひ、現在では學校として山を買ひこみ、昨年中には二千俵以上も焼きあげたといふ八名の職員を先頭に男女五百名の生徒徒が一糸亂れず増産に邁進する姿は實に健氣なものである

品質がよいので知られてゐる日向炭が大阪、神戸、京都などの消費地に割合に不自由なく出廻つてゐる際には、かうして祖國振興隊旗の下に集ふ若人たちの不撓の努力があることを忘れてはならない

火の人つた三草の空から、白煙が滾々と上る。伐採から始まつて、樹落し、窯への積み込みと、新しい苦勞の半はは終つた。さあもう一ふんばり！



汗の結晶が山と積まれてゐる。貨中に積み込んで消費地に送り出すまですべて生徒たちの手で行はれる。徹頭徹尾の協力ぶりである

お蜜柑を兵隊へ

和歌山女子學生奉仕



⇒ 競争で摘みとられる蜜柑の紋は、おもしろい。かますを満してゆく。ちんどんを叩きながら、有田蜜柑の枝折りを、段々畑を叩きながら。

↑ 古い先年までわれ／＼の口にするべき海の幸、山の幸まで節約して外貨獲得のために外園に送り出したものです。諸詰然り、お茶然り蜜柑もやはり美しい粒選りを化粧箱に入れ、マンダリン・オレンジといふ外国名前でつけてアメリカその他へ輸出したものでした。しかし米貨など一ドルも半ドルも必要でなくなつた今、国内で出来る食糧は残らずわれ／＼のものです。蜜柑も最早マンダリン・オレンジといふバタ臭い名前がキツパ返上してわれ／＼のためにみ實つた蜜柑となりました。

⇒ 凱歌をあげて組合事務所へひきあげる蜜柑摘み部隊



⇒ 山と積まれた蜜柑は芳醇な香りと真新しい木箱に詰められてゆく



⇒ お正月は蜜柑から。待ちかねる村へ町へ八百萬箇の蜜柑箱で村の街道は氾濫する



⇒ 明るい山畑で銚子はきまも軽く摘みとられる黄金の實

生憎と昨年から今年にかけては一般に果物類が不作にもかゝらず蜜柑だけは非常な富り年で、とかく栄養豊かな食糧に不足勝ちな戦時下にはこれ又この上ない栄養源として登場してくれました。こゝ有田川下流一帯、紀州蜜柑

の本場といはれる保田、宮原、箕島近邊の蜜柑山は早くから黄金色の彩りに美しい粧ひをととのへました。『今年蜜柑は五割増収』この喜ばしい報告にこたへ、縣下其島女學校からもこのほど女學生の應援部隊

が出勤し、果物の乏しい銃後の各家庭へせめて南國の木の実をどつさりお贈りしませう。戦地の兵隊さんにも懐かしい内地の味覺をたんと味つて頂きませうと、楽しいおもひに心を弾ませて蜜柑摘みに奉仕しました

撮影 小石 清

照準器

金銭主義主義を一掃せよ
杉 桓 夫



消え失せろ！
1 湯呑酒壺 2 又の形跡なき孤獨堂 3 人喰ひ人種のや
まのこゝろの
種つゝるる
たの口紅 4 又のこの愛嬌 5 ヤンキーを演じる腕の組み方



大と犬 小泉 繁郎
「犬に無敵飯を食はせて、そんな玩具は太平洋にたゞき込み給へ」

親父教育 森 熊 猛
「お父さん！ そんなお父さんを持つてゐると英米主義の非国民になるよ」



形より心、物より精神
「とて何物もまじつてゐる。これではヤンキー魂がソノソノと燃えてゐる。たゞ、洋装に身を包んでゐても、こゝろが立派に大和撫子」



群の徒教回北華むこれたなど々結へ場台大滅英米



部道報軍遣派支北 影撮 台大動運英米排一進行中市に頭先を隊衆

支那大陸にも英米撃滅の烽火

部道報軍遣派支北 影撮 民市京南たし結果に堂會大民國一へ進行旗、て立議を露現

太平洋の西に東に轟く凱歌をあげて「打倒英米」へまっしぐらに突き進む日本の輝かしい威武は、友邦中華人民の民衆にもかつてない感涙をよび傳へ、十二月二十日には北京回教徒總會場において華北回教民衆英米滅亡大會が、同二十四日には北京太和殿において中國民衆排英運動大會が、更に二十七日には南京國民大會において東亞解放民衆大會が開かれ、盟主日本への全幅の信頼と協力を誓つて熱血の火柱を盛り上げた



ていおに會大衆民放解亞東 長部傳宣生柏林ト攝を熱熱

復習室
本報からあなたは何を學んだ
てせうか。

- 1 アメリカ水陸軍機が南洋に侵入した。帝國海軍は南洋に侵入した。南洋に侵入した。南洋に侵入した。
- 2 もし空襲が目的ならば、日本本土の破壊を目的とする。南洋に侵入した。
- 3 和蘭にはまだ宣戦布告をしてゐないのに、軍艦が南洋に侵入した。南洋に侵入した。
- 4 蘭領ボルネオはオランダ領の南洋に侵入した。南洋に侵入した。
- 5 セレベス島は、マラヤの南洋に侵入した。南洋に侵入した。
- 6 マラヤ市民の抵抗を激しくした。北北軍は激しい市街戦を行った。市民歓迎に無血入城した。マラヤ全市を占領した。南洋に侵入した。
- 7 わが猛襲をうけたミンダナオ飛行場はどこにありませうか。ラングーン近郊。マラヤ近郊。ハワイ島。香港島。
- 8 今度決まつた衣料の切符新しよると東京の人は一人でも一年間に次のものを全部買ふことが出来ますか。国民服一着、ワイシャツ二枚、靴下五足、足袋一足、ハンカチ五枚、兵古帯一本、（計十品）蘭領ボルネオにもどこかに石油の産出地があるところがありますか。（計十品）
- 9 マナド。東軍がこんど占領したセレベス島の都府。著熱の新戦場に東軍勇士の勇を誇りしける結果。（計十品）
- 10 一問十點としてあなたは何點でしたか。

所 込 申	價 定	昭和十七年一月二十日印刷發行
新聞 販賣店	一冊 十 錢	東京市南區南一丁目二番地
書店 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地
新聞 販賣店	▲郵約配船郵船の方は一冊十錢（外國郵便に依る）	東京市南區南一丁目二番地

